

2面 白鷗大学フォーラム、ハクオスポーツ 他

3面 2019年度決算報告

4面 教員・公務員合格者数、就職実績 他

# 新型コロナウイルスと大学

## 学長 奥島孝康



グラフであるが、その不気味な雰囲気、なんと「新型コロナウイルス」の場合と似ていることであらうか。ひとところ猛威を振った「コレラ」にも似たところがある。この不気味さは、最も原始的な生物(?)に共通するものであるか。新型コロナウイルスは、中国の武漢のコウモリが発生源という。そうだとすれば、中国の奥地にはまだまだ未知のウイルスが存在する可能性がある。

医師リウーは、ここで終りを告げるこの物語を書きつづけようとした。しかし、彼はこの記録が決定的な勝利の記録ではありえないことを知っていた。「ペスト菌は決して死ぬことも消滅することも無いものであり、数十年の間、家具や下着類のなかに眠りつつ生存することができ、部屋や穴倉やトランクやハンカチや反古のなかに、しんぼう強く待ち続けていて、そしておそらくはいつか、人間に不幸と教訓をもたらすために、ペストが再びその鼠どもを呼びさまし、どこかの幸福な都市に彼らを迎えに差し向ける日が来るであろうということ

を。」

右の文章は、アルペール・カミュの『ペスト』(新潮文庫)の最終パラ

リサーチセンター』の理事長(無報酬)の職を二〇年余り担っている。厚生労働省管轄の唯一の公益法人であり、ストレス科学と先端生命医学の研究所でありながら、コロナとはまったく無縁である。わが財団の三〇〇人足らずの職員と年間五〇億円余りの予算では、コロナウイルスのような問題には手も足もでないからである。

財団だけではない。最も原始的なウイルスに対応するためには、最も巨額の費用を要するというこのパラドックスに立ち向かねばならないという状況に直面して、大学はいかにすべきであろうか。もとより、三密とか、ソーシャルディスタンスを考慮すれば、授業は遠隔とならざるをえない。

驚くほかはない。

とところで、新型コロナウイルスの問題は、公衆衛生のテーマでもある。そして、ぼくは、現在、公益財団法人『パブリックヘルス

る。なぜならば、教員と学生との間に、魂と魂とのぶつかり合う機会が成立して、その間に火花が生ずる瞬間にこそ、教育というものは成立すると考えられるからである。

ぼくの個人的な体験ではあるが、ひとつだけ例を挙げると、大学三年生のとき、ぼんやり出席していたフランス法の特論のことだ。そのとき先生が何気なく言った「学説でもポティエやドマなどの言説は法源と考えてよい」という言葉はいつまでも頭に残ったし、学説には歴史的背景を考慮しなければ理解できないものが少なくないとかいう言葉にも納得させられることが少なくなかった。

が、どう工夫したところで、教員と学生の対面授業はむしろかたがたである。しかし、対面授業を全面的になくしては、大学の最も重要な講義というものは成り立たない。つまり、大学の教育というものは成り立たないのであ

は成り立たないのであ

# コロナ禍での学生支援

## 全学生に五万円を支給 学費延納期間も延長

新型コロナウイルスの影響を受けた学生は、約五千人に達し、1人あたり一律五万円、総額約二億五千万円の緊急支援金を支給した。これは、4月27日から前期授業をオンラインで実施することとなり、より良い修学環境を整備してもらおうと

行ったもの。通常の教育環境とは異なり多くの困難や負担が予想され、アルバイト収入減などで経済的に不安を抱えている学生も少なくないことから、学生が安心して学業に専念できるようにという想いから支給された。支援金の返還は不要で領収書の提出も求めな

いこととした。支援金は、在学生の実家住所宛てに現金書留で5月中旬に発送した。

さらに、家計の急変に対応するため、学費の延納期限を延長した。前期は6月末日から8月末日に変更し、後期も延納期限を11月末日から12月下旬に延ばした。

白鷗大学は学生たちの学びの機会を途絶えることなく提供し続けるため、これからも支援をしていく予定だ。

## メッセージ動画

### 「The Professors」を配信

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大学に來られない学生への支援策として、教員からのメッセージ動画「The Professors」の配信が6月からスタートした。各回教員3人が授業やキャリア、研究などのテーマでオンライン対談し、新入生を中心にメッセージを送る取り組み。

第1回は小笠原伸教授(経営学部)と白石智則教授(法学部)、大木俊英准教授(教育学部)が遠隔授業における受講のポイントを読み、授業支援システムなどを利用して、「より積極的な質問

を心掛けてほしい」とアドバイスした。「キャリアについて考えよう」と題した第2回では、一般企業・公務員・教職の各進路ごとにポイントを解説し、「自分という人間をよく知り、自分が何に向いているか正しく判断することが大切」と助言した。今後は各学部の学び紹介のほか、国際交流や課外活動なども取り上げていく予定。小笠原教授は、「遠隔授業に臨む学生へ大学とのつながりを保つてもらうのが支援を行うのには、教員からの情報発信が必須と考え企画



配信された動画の様子

# 白鷗大学 フォーラムを開催

第13回白鷗大学フォーラム in 大手町が11月25日、東京のよみうり大手町ホールで開かれた。

白鷗大学の奥島孝康学長のあいさつに続き開幕。

毎年、著名なゲストを

招いて行われており、今

回は、「がんばれ日本！

スポーツの魅力と健康」

をテーマに、日本ラグ

ビーフットボール協会専

務理事を務める岩淵健輔

氏が「スポーツの魅力と

ラグビーW杯を通して

」と題した講演を行っ

た。岩淵氏は、日本で初

めて開催されたW杯を終

えて「スポーツには夢と

希望を与える力があると

確信した」と話した。

さらに「一過性の盛り

上がりではなく、スポー

ツの力を社会に還元でき

る場を維持していくこと

も大切になってくる」と

強調した。



岩淵健輔氏

その後、パネルディス

カッションが開かれ、

日本陸上競技連盟理事の

瀬古利彦氏、医師で白鷗

大学名誉教授のきたやま

おさむ氏、五輪3大会連

続体操金メダリストで白

鷗大学名誉教授の加藤澤

男氏、ノンフィクション

作家で日本スポーツ学会

代表理事の長田清左氏ら

が登場し、「スポーツの

魅力と健康長寿」をテー

マに話し合われた。健康

寿命を長くするために

は、体を動かすことが大

切で、運動する自分と向

き合い、自分にとっての

よい加減を知ることが

大事と締めくくられ約

500人が熱心に耳を傾

けた。

なお、基調講演を行っ

た岩淵健輔氏は、本年度

後期より特任准教授とし

て本学の教壇に立つ予定

である。

# IBインカレ 本学で初めて開催

第9回国際ビジ

ネス研究インター

カレッジ大会が昨

年11月、本キャン

パスで初めて開催

された。

同大会は、大学

で国際ビジネスを

研究しているゼミ

ナールが研究成果

を学術論文で提出

のうえ、学術論文

形式で発表し、得

点を競う全国大

会。本学の内堀敬

則ゼミナール(国

際マーケティング

戦略研究)と、鈴

木仁里ゼミナール(グロー

バルビジネス研究)をは

じめ、全国10大学12ゼミ26チ

ームが参加した。

内堀ゼミの高野祐奈さん(経営学

部3年(当時)

は「論文執筆にあたり、実

際に企業へ行きヒ

アリングやアンケート調査を

行い、実証的な研究

ができた。初めての経験ば

かりで挫けそうになる

場面もあったが、仲間との

コミュニケーションを

密にしなが、最後まで全

力を尽くした」と大会

を振り返った。

本学の在学生が研究した

テーマは以下の通り。

内堀敬則ゼミナール

・ 外食産業のグローバル

展開の実態

・ 国際化戦略の動向と持

続的可能性

・ 海外先行事例にみるオ

ーバーツーリズム解消策

・ 持続的なインバウンド



外食産業の実態を研究した内堀ゼミ

# Hakuoh Night Collegeを開催



終演後、写真撮影で笑顔を見せる学生たち

学生が自身の夢や目標をプレゼンテーションする「Hakuoh Night College」(HNC)が2019年12月4日、本キャンパス白鷗国際ホールで開催された。会場には在学生や卒業生、教職員など約200人が詰めかけ、スピーカーたちの熱弁に耳を傾けた。

学生の主張を発信することで大学全体に刺激を与えることがコンセプトのこのイベントは、2014年に第一回が開催。翌年の第二回開催後は一旦休止していたが、有志学生たちによって4年越しの復活を遂げた。



留学生との交流について語る小堀さん

今回舞台上に立ったのは学部生、留学生の6人。研究成果や自身の体験談、今後の夢などについて発表した。今回は初のコンテンツ形式で行い、来場者の投票で順位を決定した。優勝したのは小堀詩さん(経営学部4年(当時))。大学の国際交流体験と、それによって変わったことを語った。

終了後には懇親会も開かれ、スピーカーや来場者、裏方として運営を支えた学生たちがイベントの成功を称え合った。

# HAKUOH SPORTS HAKUOH SPORTS

## 軟式野球部が 東日本大学選手権大会で 準優勝

軟式野球部が「第40回東日本大学軟式野球選手権大会」において準優勝を果たした。同大会の準優勝は4度目。打率3割5分3厘、1本塁打、5打点を記録した主将の古里朋也選手(経営学部3年(当時))が、優秀選手賞に選出された。

同選手は「今大会は悔しい結果となった。決勝戦では延長の末サヨナラ負けを喫したが、最後までチーム一丸となって戦うことができたと思う。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。来年こそごさいました。来年こそは全国大会と東日本大会を制覇し、2冠を達成したい」と来期の目標を誓った。



左から上野選手、古里選手



来年、優勝を誓う選手たち

## 少林寺拳法部が小山警察署から感謝状

少林寺拳法部が、交通安全の広報啓発に貢献したとして小山警察署から感謝状を授与された。同部は昨年11月に開催



感謝状を掲げる平澤さん

された「安全運転管理フェスティバル」に出演し、団体演舞や護身術を披露した。

主将の平澤元拓さん(経営学部2年(当時))は「たいへん光栄なこと。自分が運転する際には、他の模範となるように気を引き締めてハンドルを握りたい」と語った。



就職率

98.4% 高い就職実績を誇る

公務員

栃木県庁をはじめ82人が合格

公立学校教員採用試験

過去最多の254人が合格

■公立幼稚園・保育園・認定こども園への就職 (認定こども園を含む)

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
幼稚園	50人	34人	49人	39人	56人	43人	34人	11人
保育園	54人	44人	43人	37人	47人	45人	59人	51人
合計	104人	78人	92人	76人	103人	88人	93人	62人

■公立小中高教員採用試験合格者数の推移

年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
	19人	22人	41人	31人	53人	76人	112人
年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計
	123人	122人	169人	171人	205人	254人	1,398人

白鷗大学の2019年度の就職率は、98.4%であった。今回も、本学のキャリアサポートセンターによる、きめ細やかな支援と学生の努力によって出た結果である。

公務員試験では、栃木県警察本部の14人をはじめ警察に23人が合格。栃木県庁などの県市町村職員には29人、消防官に7人、公立保育士に12人、自衛官に10人、刑務官に1人それぞれ合格した。

公務員をめざす学生には、高い合格実績を持つ予備校講師を招いて「公務員試験対策講座」を開講している。そのほかにも、専任の職員が学生の悩みや相談に応えたり、最新の情報を提供する窓口となる「公務員支援室」や、公務員試験に挑む学生が集中して勉強できる専用の「公務員試験対策自習室」など環境を整えている。今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、Webを利用した学習ツールの提供と、予約制での自習室利用を行っている。

また、公立学校教員採用試験合格者(臨時的任用除く)は、新卒105人、既卒149人の合計254人。うち、214人が小学校教諭、中学校教諭29人(保健体育、英語、社会)、高等学校教諭7人(保健体育、英語、公民)、特別支援学校教諭4人であった。今年も過去最多を更新した。さらに、幼稚園教諭は11人、保育士に51人が採用となった。

これら、教員採用試験の合格を支えているのが、教員による指導とともに教職支援室である。同室は、3年次から「教採セミナー」や「論文・面接セミナー」を実施し、教員をめざす学生をサポートしている。また、公立校の管理職や教育委員会指導主事の経験者がアドバイザーとなり、教職教養の補修や論文の書き方、個人面談や模擬授業などの実践的な指導を行っている。

現在は、新型コロナウィルスの影響で、対面での指導は控え、オンラインを利用しているセミナーやガイダンスを行っている。

2020年度の入試結果

2020年度入試は、翌年度に控える大学入試センター試験から大学入学共通テストへの変更や各大学の入試改革に對して、受験生の「浪人できない」という意識から、「安全志向」と「現役志向」が高まった。また、2016年からの文部科学省による入学定員管理の厳格化により、各大学とも年々合格者数の絞り込みが厳しくなっている。これにより、受験生は、合格する可能性が低い大学を受験するのをやめ、併願する大学の数を抑える傾向があった。

これらの要因から、本学では2020年度入試において、志願者数が6202人となり(表1)、2013年から7年間続いた志願者増が8年ぶりに減少した(表2)。しかしながら、減少はわずかであり、全国的にも、私立大学志願者数は14年ぶりに減少しており、同様の動きがみられた。

(表1) 2020年度志願者・合格者 (人)

学部	学科・専攻	募集人員	志願者数	合格者数
経営学部	経営学科	400	2,080	904
法学部	法律学科	270	1,433	636
教育学部	発達科学科	430	2,689	1,123
	児童教育専攻	220	1,397	543
	スポーツ健康専攻	120	526	230
	英語教育専攻	50	368	188
	心理学専攻	40	398	162
計		1,100	6,202	2,663

(表3) 在籍学生数 (人)

学部	学科・専攻	1年	2年	3年	4年	総数
経営学部	経営学科	471	466	491	503	1,931
法学部	法律学科	307	310	312	328	1,257
教育学部	発達科学科	496	491	487	525	1,999
	児童教育専攻	230	244	252	269	995
	スポーツ健康専攻	140	107	121	130	498
	英語教育専攻	61	60	60	64	265
	心理学専攻	65	80	54	62	241
計		1,274	1,267	1,290	1,356	5,187

(2020年5月1日現在)

1272人の新入生を迎えた

2020年4月、本学には、大学院生を含む、1272人が入学し、新年度をスタートさせた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式は中止となったが、奥島孝康学長は、「皆さんを出迎える門出が世界各地で猛威をふるう新型コロナウイルスの影響で、入学式を中止せざるを得ないことはとても残念です。しかし、ものは考えようで、厳しい第一歩を踏み出すことは、それはそれなりに大事なこともありません。人生は山あり谷ありです。皆さんは、たまたま大学を谷底から始めただけのことです。いずれ、輝かしい嶺を迎える日も来ることでしょう」と新入生に激励するメッセージを送った。

学位記・卒業証書1104人に授与

2019年度学位記・卒業証書授与式の式典は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、3月21日、両キャンパスの教室で学位記・卒業証書の授与を学部・専攻別に卒業生と教職員のみで執り行われた。1104人の卒業生が本学から飛び立っていった。

奥島孝康学長は、「諸君たちが、先輩たちと同様、必ずや社会から歓迎を受けることを確信しております。白鷗大学の伸び伸びとしたキャンパスで、大らかに育って、活力に満ちた君たちが社会に新風を巻き起こしてくれることを期待されているからにはほかなりません。どうか、くれぐれも元気で、社会での活躍を祈っております」と卒業生に言葉を贈った。各教室では、卒業生一人ひとりに、教員から証書が授与された。

教員人事

学部	職名	氏名	備考
経営学部	特任准教授	岩淵 健輔	【新任】(2020年4月1日付)
	講師	Aki Cunningham Erim Miller	
法学部	特任教授	水野 紀子	
	准教授	田中 嘉彦	
教育学部	教授	浅木 尚実	
	准教授	矢島 秀和	
教育学部	教授	伊崎 純子	
	准教授	鈴木 和代	
教育学部	教授	後藤 学	
	准教授	萩野 亮	
教育学部	教授	神戸 文朗	
	准教授	荒川 麻里	
教育学部	教授	高橋 美保	
	准教授	福崎 淳子	
教育学部	教授	石川 信	
	准教授	河野 泰義	
教育学部	教授	吉川 高行	
	准教授	柳川 昭男	
教育学部	教授	市川 謙次	
	准教授	高畑 千秋	
教育学部	教授	後藤 謙次	
	准教授	藤井 和彦	
教育学部	教授	伊勢 正明	
	准教授	金田 健史	
教育学部	教授	伊勢 正明	
	准教授	藤井 和彦	

【昇格】(2020年4月1日付)  
教育学部 教授 伊崎 純子

【昇格】(2020年6月逝去)  
名誉教授・元法学部教授 蔡 柱國 84歳  
(2020年6月逝去)

【退職】(2020年3月31日付)  
教育学部 教授 後藤 謙次

【新任】(2020年4月1日付)  
経営学部 特任准教授 岩淵 健輔  
講師 Aki Cunningham  
Erim Miller

【退職】(2020年3月31日付)  
教育学部 教授 後藤 謙次  
准教授 藤井 和彦

新たに10名が名誉教授に

2020年3月21日、本キャンパスにおいて、2019年度白鷗大学名誉教授称号授与式を執り行った。名誉教授称号は、本学の選定基準に基づき、教育上又は学術上の功績が顕著であった方へ授与するもの。奥島孝康学長から出席者一人ひとりに名誉教授記が手渡された。

名誉教授の称号を授与された先生は次のとおり。

- 市川 千秋 (経営学部)
- 後藤 謙次 (経営学部)
- 吉川 薫 (経営学部)
- 的場 哲朗 (法学部)
- 小泉 祥一 (教育学部)
- 上岡 條二 (経営学部)
- 柳川 高行 (経営学部)
- 石川 信 (法学部)
- 神戸 文朗 (教育学部)
- 高橋 美保 (教育学部)